

氏名	白 雪松
学位	博士
専門分野の名称	経済学
学位授与番号	博甲第 4806 号
学位授与の日付	平成 25 年 3 月 25 日
学位授与の要件	社会文化科学研究科社会文化学専攻 (学位規則 (文部省令) 第 4 条第 1 項該当)
学位論文題目	中国東北三省における都市貧困問題と対策に関する研究
学位論文審査委員	主査・教授 太田 仁樹 教授 真実 一美 教授 新村 聡 准教授 津守 貴行

学位論文内容の要旨

本論文は、遼寧省・吉林省・黒竜江省という中国東北三省を対象にした都市貧困問題に関する研究である。

中国における貧困問題は、1978 年以前、1978-2002 年、2003 年以降で、そのあり方が変化している。1978 年の「改革開放」以前の中国経済は全般的な低水準にあった。改革以後、農村貧困問題は解決の兆しを見せたが、都市と農村の間、都市内部での不平等や格差の拡大が現れた。2003 年以降、中国政府は地域ごとの「振興政策」を打ち出し、都市貧困問題を解決しようと努力している。

東北三省では、2003 年に打ち出された「東北振興」策によって、貧困問題に対処しようとしている。本論文は、この前後の東北三省における都市貧困問題について、その実態を詳細に検討し、東北三省政府の行なっている社会保障の整備と小国有企業による再就職の促進という 2 つの政策が、必ずしも成果を上げていないことを明らかにした。

2003 年以降、東北三省では持続的な経済成長が見られるが、雇用創出という点では、十分な成果は見られなかった。従来の雇用主体であった国有企業の雇用機能が低下する一方で、対外貿易や外国からの直接投資の規模が小さいため、雇用創出効果が小さく、また雇用創出の主体となる民営中小企業が、安定的な雇用を提供することができない。このため都市貧困問題の解決や拡大防止という成果を上げていない。

本論文は、都市部における所得の源泉が主として賃金であり、都市貧困者の多くの就職先が中小企業であることに鑑み、民営中小企業の発展が東北三省における都市貧困問題の解決にとって重要であると主張している。さらに、日本とインドにおける経済発展の経験を踏まえて、中国東北三省における中小企業の促進策の一つとして、大型企業と連携する民営企業の育成を提起している。

学位論文審査結果の要旨

白雪松の学位請求論文「中国東北三省における都市貧困問題と対策に関する研究」は、遼寧省・吉林省・黒竜江省という「中国東北三省」における「都市貧困問題」について研究した論文である。

都市貧困問題は、1978年以降の「改革開放」政策によって生まれてきた「格差問題」の一種類であるが、農村における貧困問題や都市と農村の格差問題とは区別される問題であり、2000年代に入って注目されるようになったものである。東北三省政府は、2003年に「東北振興」策を打ち出し、都市貧困問題に対処しようとしているが、その結果は必ずしも芳しいものとはいえない。

この問題についての従来の研究は、概ね2006年前後までの分析にとどまり、「東北振興」策の成果についての評価を下すことはできなかった。本論文は、この問題について2010年前後まで分析を拡張することにより、「東北振興」策が、都市貧困問題対策としては成功していないこと明らかにした。この点は、本論文独自の貢献であり、東北地域の経済分析の研究史において足跡をしるすものと言えよう。

しかしながら審査においては、本論文の問題点として以下の点が上げられた。

- ① 貧困問題を論ずる際に、都市戸籍を持つ者だけを対象とするのでは、あまりにも限定的ではないか。農村戸籍者も含めて、中国全体の貧困問題をとらえるべきではないか。
- ② 格差拡大・格差縮小の未達成という実態の把握は詳しいが、中国東北三省の格差形成のメカニズムについて理論的な掘り下げが必要である。
- ③ 民営中小企業の発展に、都市貧困問題解決の鍵を見ているが、国際的環境も含めて中小企業発展の条件についてより深く把握する必要がある。

以上のような問題点が指摘されたが、これらの問題は、著者が引き続き考究すべき問題点というべきであり、本論文が持つ研究上の意義を減殺するものではなく、本論文は学位授与に値するものである、と審査員全員の意見が一致した。